

2013 年度以降 入学生	情報リテラシー実践ⅡB	科目種別	基礎科目群	単位数	2	特別申請科目
2012 年度以前 入学生	情報リテラシー実践ⅡB	科目種別	基礎教育科目	単位数	2	特別申請科目
担当教員	時間割参照	後期	月～金曜日	2・3・4限		
①授業方針・テーマ	計算機科学やプログラミングの基礎知識を学び、数理科学的な問題解決に取り組む。					
②習得できる知識・ 能力や授業の目的・ 到達目標	<ul style="list-style-type: none">・ 計算機科学の基礎を理解する・ プログラミング言語の文法を理解し、具体的なプログラムを作成できるようになる・ 以上に挙げた情報活用能力に加え、総合的問題思考力、論理的思考力、能動的学修姿勢、倫理観・社会的責任の自覚を習得できる					
③授業計画・内容	<p>計算機科学の基礎とプログラミング</p> <ol style="list-style-type: none">1. 情報倫理講習会、授業ガイダンス、オペレーティングシステムの基礎知識2. エディタの使用法3. プログラミングの基礎知識、ソースコード、翻訳、実行4. アルゴリズム(問題の解法)入門5. 変数の定義と変数の型宣言6. 整数、実数、文字、論理型変数と型変換7. 代入文8. 繰り返し文9. 条件文10.配列11.キーボードからのデータ入力12.ファイルの読み書き13.メソッドの作成14.プログラミングによる問題解決15.まとめ <p>【授業外学習】eラーニングシステム上のコースウェアや、担当教員が公開する資料などを用いて、予習や復習、課題への取り組みを十分に行うこと。</p>					
④テキスト・参考書等	eラーニングシステム上に標準コースウェアを設置する。 クラスによっては担当教員から別途、指示される場合がある。					
⑤成績評価方法	<p>以下の観点に基づき総合的に評価する(詳細は担当教員が提示する)。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 授業への出席・ 提示される課題や発表・ 情リテ情報倫理テスト					
⑥特記事項	<p>前期の情報リテラシー実践IまたはIAの内容を十分に理解していること。 本授業では、担当教員によって扱うプログラミング言語(Java、C、Python)が異なるため、履修の方法と併せて教務課の掲示を確認すること。</p> <p>【質問受付方法】担当教員により異なるため、授業ガイダンスの際に提示する。</p>					